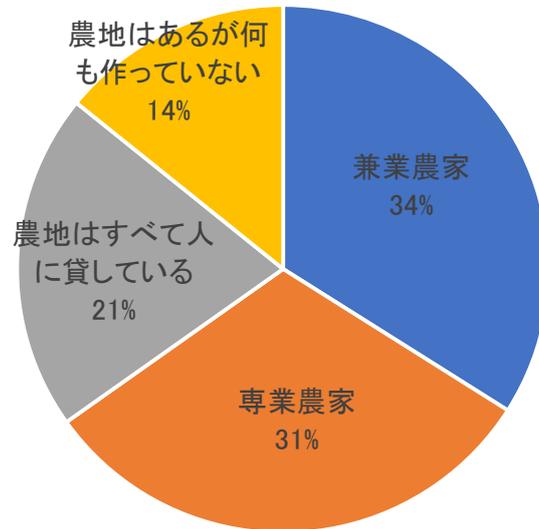


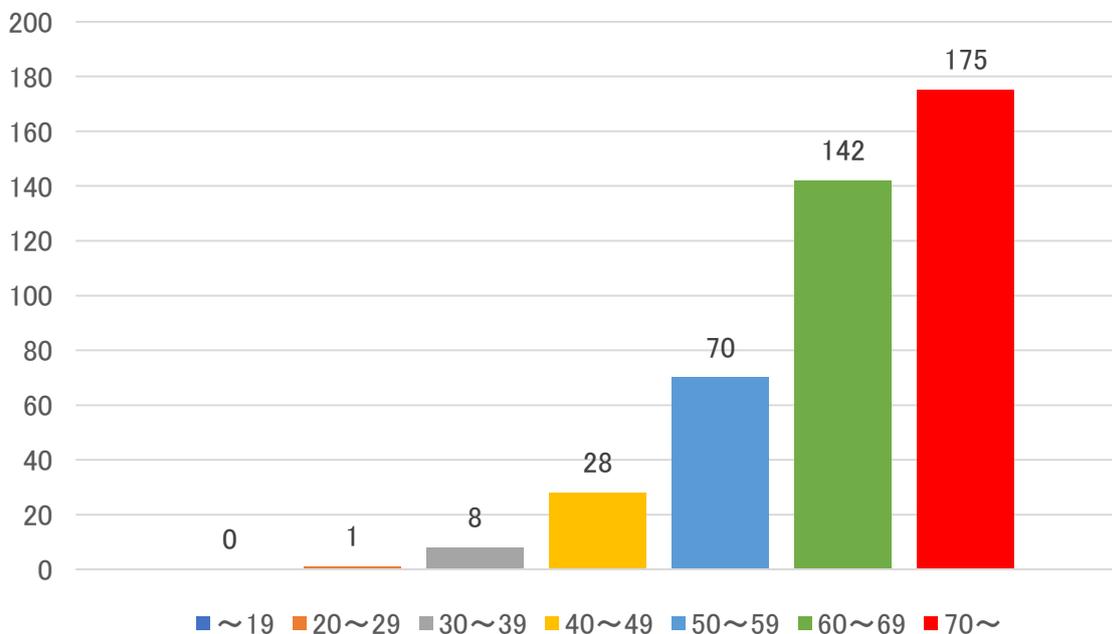
## 地域農業の将来に関するアンケート結果〈西郷地区〉

対象者総数 451 回答者数 353 回答率 78.3%

(1) あなたの農業形態を教えてください。



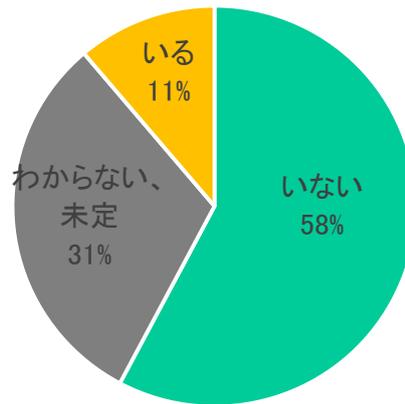
経営者年齢分布図(単位:人)



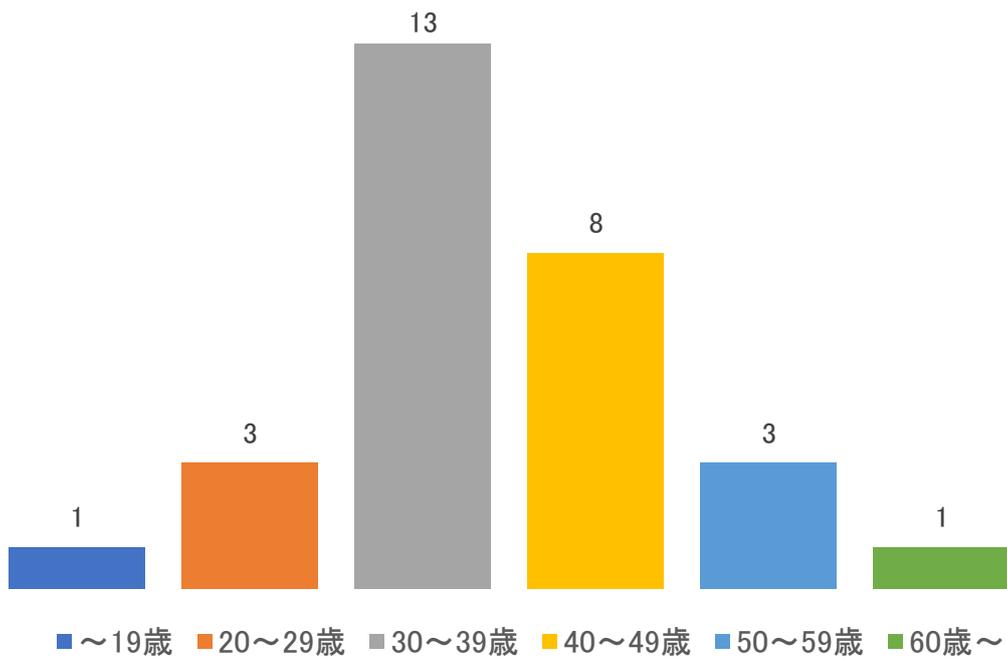
※経営者年齢は農家台帳システムおよびアンケート回答から集計した。

現在耕作している人は、専業、兼業併せて 65%であった。経営者の年齢を分布図で見ると、若年層の経営者が少なく、地区の平均は 66.8 歳であった。

(2) あなたの農業の引き継ぎ手はいますか。

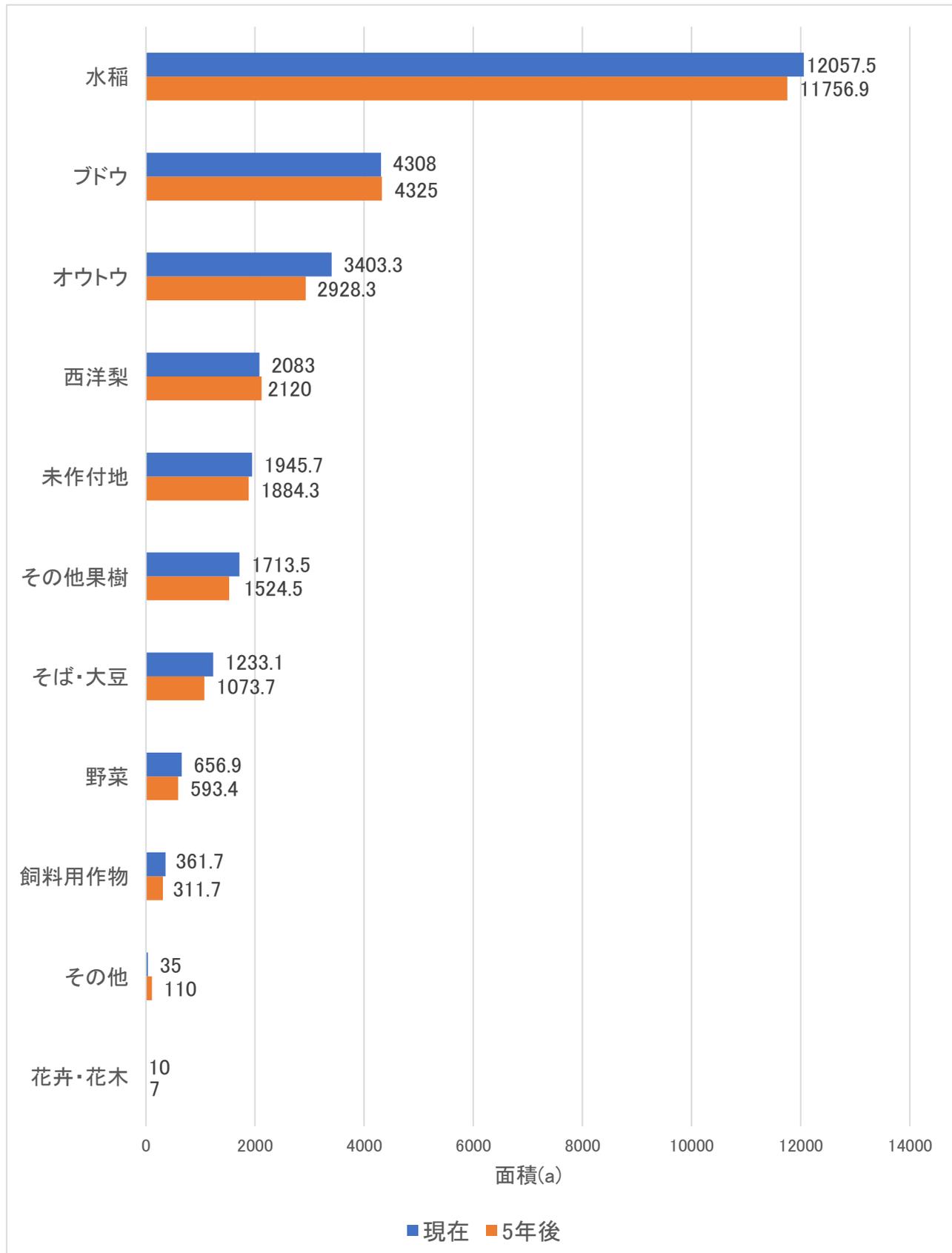


(2) 後継者年齢分布図(単位:人)



回答者の約6割は後継者がいないと回答。地域の後継者を年代別にみると、30代がもっと多く、平均年齢は38.4歳であった。

(3) あなたの現在と将来の農業構成を教えてください。(グラフ数値は地区全体の合計面積(a))



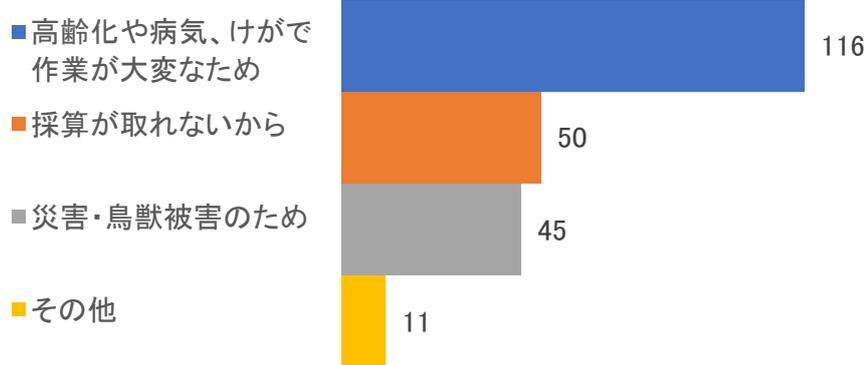
アンケートの結果では、現状と将来の経営面積の差は-4% (-1,167a)であった。差が最も大きかったのはオウトウで、現状から475a減る見込み。

(4) (規模拡大したい方へ)規模拡大の方法はどのようにお考えですか。(複数回答可。単位:人)



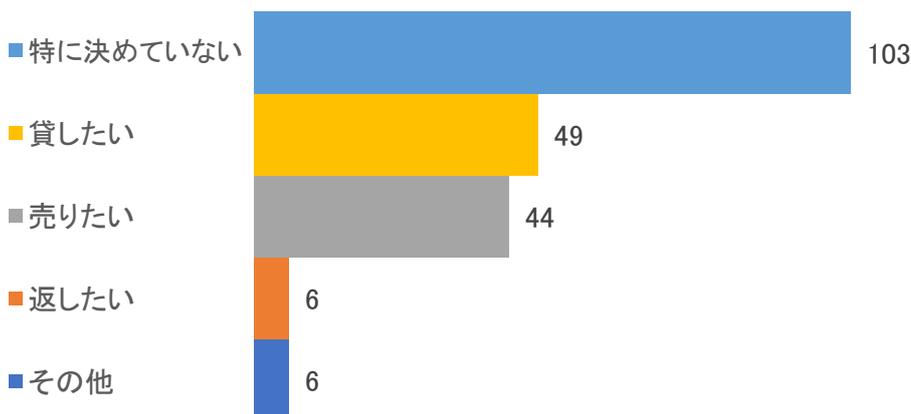
その他記載欄…  
 「返却された貸地を利用」  
 「採算の取れないものを縮小し、新たな作物を植える」  
 「圃場整備により休耕田を畑作に」

(5) ①(栽培をやめたい、縮小したい方へ)理由は何ですか。(複数回答可。単位:人)



その他記載欄…  
 「大型耕作機械や農業用水が使用できず、作付けは困難な農地」  
 「勤めているので作業時間が取れない」  
 「稲作を注視。後継者と相談して任せる。」  
 「後継者がいないため」

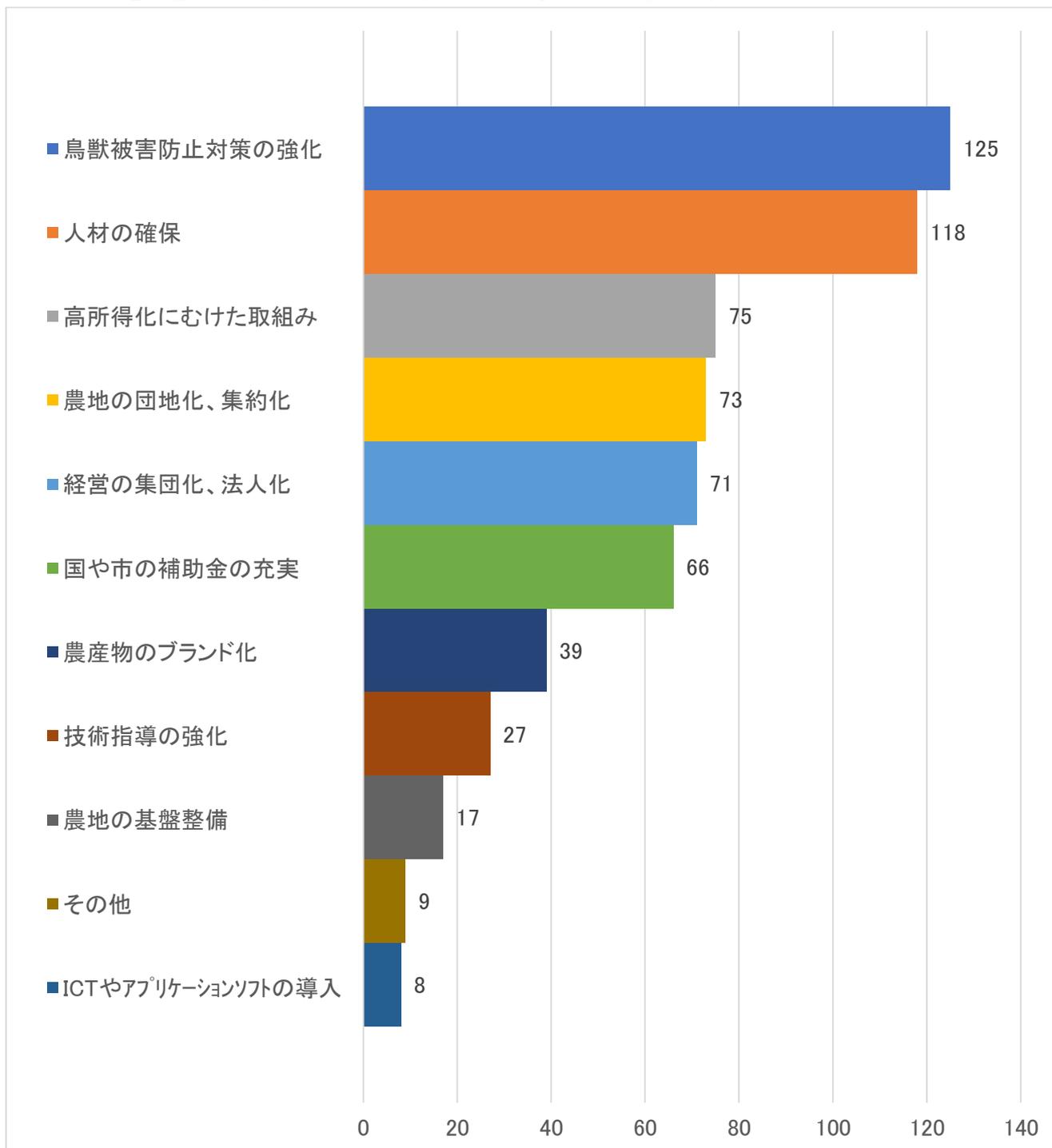
(5) ②(栽培をやめたい、縮小したい方へ)栽培をやめた、あるいは規模を縮小したあと、農地はどうしたいですか。(複数回答可。単位:人)



その他記載欄…  
 「国に譲りたい」  
 「遊休農地にする」  
 「別の作物を植える」

規模縮小したい理由として、高齢化や傷病など身体的な理由のほか、採算性や人手不足の問題を挙げる人が多い。また、栽培をやめた農地の用途については特に決めていない人が最も多く、全体の約半数を占める。

(6) 今後の地域農業のために、何が必要だと思いますか。(複数回答可。単位:人)



その他自由記載欄…「機械化」「夢と希望の持てる取組」

「農地を含む国土保全の取り組み、考え方の確立を国が早期に決定し、補助制度制定等により対策を講じることを要望する。」

「現状の山形県の指導、ブランド化は上山が、今まで全国に消費宣伝に行っていたブランド産地をつぶしている。特色ある産地化ができない。」

「法人化して老いても日雇いでも設ける場所。6次産業化し加工販売で人材の確保できる。」

鳥獣被害防止対策、人材の確保が特に多い。次いで高所得化に向けた取組み、農地の団地化、経営の集団化、補助金の充実が多い結果であった。